

いなかてれび



佐藤牧場（木次町東日登）さとうへい ちろう めぐみ（佐藤平一朗さん・恵美さん）

平一朗さんの両親とで営む佐藤牧場は乳用牛を飼育しています（経産牛26頭 仔牛27頭 取材時）。ノウハウをお父さんから学ばれながら、最近は平一朗さん夫婦が主に経営を継承しつつ、頑張っておられます。この3月から5月にかけては牛の出産が続く忙しい日々を追われます。小さいお子さんも育てながらの毎日の仕事は、餌やり、牛舎の掃除、搾乳の繰り返し、その合間の家事や、子育て、経営についてもご夫婦が継承されながら事業を展開されています。

乳牛たちが健康に育つよう清潔面や栄養管理や環境面で気を配りながら日々頑張っておられます。

今後は頭数を増やし管理するため規模拡大を計画されています。

目下、思案されていることは規模の拡大に伴う堆肥の処理のことで、肥料として使ってくださる方を探されているそうです。

日々大変な作業をされているご夫婦ですが、今後の目標に向かうお話をされるその表情がとてもキラキラ輝いて見えました。



雲南市農業振興施策に関する

意見書への回答（要旨）

1 担い手・後継者の育成・確保対策について

①農地を維持管理するうえで雲南市の「担い手農地集積補助金」のさらなる拡充を要望する。

回答…担い手農地集積補助金は、令和元年度より補助額を2千円/10aに拡充し助成をしている。

本事業は令和3年度までの3年間継続して実施する予定で令和4年度以降については、3年間の実施状況や担い手の意見なども踏まえ検討を行う。

②農事組合法人などから引き継いだ農地を耕作している個人農家にに対し作業機械の購入・更新や種苗、農薬等の購入補助など耕作意欲の向上につながる支援策を講じること。

回答.. 認定農業



者として認定を受け農業経営の拡大・安定化を図っていただき、機械などの購入に対しては市独自の「農業担い手フォローアップ事業補助金」で支援を行う。

2 農地の環境保全・農地の維持管理について

①土地改良のさらなる推進や荒廃農地解消対策を速やかに講じられたい。

回答…ほ場整備の土地改良は、地元農家の要望などを踏まえ計画的に施工を進める。

荒廢農地の解消は、日本型直接支払制度を推進し解消に努めていただけによう周知を図る。

②草刈りや防草剤散布などの労働力軽減のため、リモコン式自走草刈り機やドローンなどの機器の購入助成の検討を講じたい。

回答.. 担い手による機器購入は、県補

③非農家の方も農地を活用し産直市などに出荷することも考えられる。非農家でも市民農園の利用について具体的な取り組み方法などの支援策を講ずる必要がある。

回答…雲南市は大東町内に1カ所、36区画の市民農園を有し他地域の方も含めどなたでも利用可能です。今後の市民農園の増設や施設整備などは要

④ 1・Uターン者などの新規就業者への経済的支援や、就農支援など担い手の育成策を講じること。

回答…就農相談件数は、年々増加しており関係機関と定住就農連絡会を開催し、就農に係るサポートを総合的に行っており今後も連携し就農までの総合的支援を行う。

回答.. 就農相談件数は、年々増加しており関係機関と定住就農連絡会を開

助事業の活用その他「農業担い手フォローアップ事業補助金」により支援を行っている。本年は国県のコロナ支援対策を活用し種機械の導入を進められており今後とも担い手の整備に
対し支援を行う。

〔第5期中〕間地域直接支払制度の雲南市独自の助成制度として、条件不利農地への交付金の追加加算や鳥獣被害防止策を講じている地域への加算や支援などを講じられた。

回答… 条件不利地域の加算は6千円／10aの交付金や「超急傾斜農地保全管理加算」が継続しています。鳥獣被害防止対策では市独自で電気牧柵などの購入助成はありますが、その他の上乗せなどは困難と考えており、今後とも国に対し交付金額の増額を検討するよう要望を行う。

④ 森林環境譲与税を活用した農村環境の保全対策の実施についてさまざま
な支援策を講じられたい。

回答・・ 森林整備の促進を図るための

「森林整備推進事業補助金」の「森林作業道の開設支援」と「森林作業道の簡易改良支援」のこれらを活用し山林の管理を検討いただきたい。

作業道などの管理は「多面的機能支払交付金」を活用し、農地と山林の管理をいただきたい。

3 農業経営基盤の整備と安定化 および保全管理について

① 中山間地域にあった土地改良に併せ稲作、野菜、果樹、畜産などを組み合わせた複合型経営の推進を講じたい。

回答.. 地域で集落営農組織を設立し、

水稻栽培に園芸栽培も組み合わせた高収益な農業経営に取り組んでいたための推進を図る。

② コロナ禍により販売収入が減少した農家には収入保険制度の補償が有効であり積極的な加入推進を希望する。

回答 収入保険制度の対象者は青色申告を行う農家であり、加入者数が少ないので、今後関係機関と共に加入推進に努める。

⑤夏も記録的な高温で水稲・畑作物に高温障害が発生している。高温障害対策の一部助成の支援を講じられたい。

回答 ハウス設備などの整備については、「農業担い手フォローアップ事業補助金」が活用できますので、PRなどに努める。

4 有害鳥獣被害対策・防 止対策の強化について

没する地域が出てきた。市全体・自治体の鳥獣害の情報を共有し、適切な対応策を講じられたい。

回答…目撃・被害の情報収集や関係機関との情報共有に努め、駆除班に捕獲依頼を行うと共に、被害防止の啓発活動などを実施して被害防止を推進する。

②鳥獣の捕獲に活躍されている猟友会への支援と体制などの強化を講じられた。

回答.. 各種支援制度の新設・拡充については、引き続き関係機関のご意見やご要望などを把握し実施する。

～令和3年度 雲南市標準農作業料金等一覧表～

雲南市標準農作業料金検討協議会において、次のとおり決定しましたのでお知らせします。

- ★この料金はあくまで標準の料金です。ここに定めのない農作業については作業条件等により双方協議の上、決定してください。
- ★「備考欄」、「3 特記事項」、「4 ほ場条件」に記載してある事項については、それぞれの実情に応じて決めてください。
- ★この標準農作業賃金・農作業料金は、令和3年4月1日から適用します。
- ★この標準農作業料金は税抜きの金額です。

1 農作業賃金

作業区分	種 別	単 位	金額 (円)	備 考
農作業	一般農作業	1 日	8,000	

2 農作業料金 (税抜き)

作業区分	種 別	単 位	金額 (円)	備 考
耕 起		10 a	7,130	・ ほ場周囲の機械作業が困難な場所の作業は委託者が行う ・ 通し代とは、荒代、植代を同一人が受託して行う作業である
代 掻 き	荒 代	10 a	3,340	
	植 代		5,650	
	通 し 代		8,990	
畦 塗 り		1 m	56	・ 機械作業
機 械 田 植	一般田植機	10 a	8,430	・ 肥料は別料金 ・ 枕地の手植え、欠株の補植は委託者が行う
	側条施肥型		8,900	
育 苗	硬 化 苗	1 箱	840	・ 種子代を含む
防 除		10 a	2,320	・ 農薬は別料金
刈 取	コンバイン	10 a	20,930	・ 籾運搬費は別途
	バインダー		10,470	
ハーベスター		10 a	10,470	
乾 燥	18.0%以下	30kg	340	
	18.1%～30.0%		790	
	30.1%以上		900	
籾 摺 り		30kg	520	
色 彩 選 別		30kg	370	・ 籾摺りからの一連の作業料金

3 特記事項

- (1)機械や育苗の運送経費は別途双方協議の上、決定する。
- (2)田植作業やハーベスターによる脱穀作業、籾摺り作業の際、補助者が必要な場合は委託者負担とする。
- (3)コンバイン、バインダーによる刈り取り作業の際、稲の倒伏程度により1割倒伏・1割加算の基準で、またほ場の軟弱の程度により双方協議の上、料金を加算する。
- (4)深耕、稲わらの処分など、一覧表に無いものは別途双方協議の上、決定する。
- (5)色彩選別のみの作業の際は、別途双方協議の上、料金を加算する。
- (6)農作業料金に影響を及ぼす事態が生じた場合は、雲南市標準農作業料金検討協議会で協議し、決定した事項については広報などで周知することとする。

4 ほ場条件

※ほ場一区画の面積が10a以上、概ね乾田であるほ場での作業を想定して料金を算定した。
したがって、一区画10a未満のほ場、また10a以上でも不整形のほ場は、双方協議の上、料金決定する。

～ 雲南市賃借料情報 ～

《令和2年1月～令和2年12月公告分》

	地域名	平均額	最高額	最低額	件数 ()は物納件数
田 (水稻)	大 東 町	6,200円	10,000円	2,000円	55 (8)
	加 茂 町	7,900円	10,600円	3,000円	94 (9)
	木 次 町	2,200円	2,500円	2,000円	5 (0)
	三 刀 屋 町	4,500円	9,000円	3,000円	12 (10)
	吉 田 町	5,700円	7,000円	2,000円	25 (18)
	掛 合 町	5,500円	8,100円	3,800円	36 (32)
畑	雲 南 市	4,200円	8,000円	2,000円	14 (1)



女性委員ルポ

移住者 交流会

12月16日（水）の夜、
私たち女性農業委員3人
は木次町の古民家カフェ
「つちのと舎」を訪れま
した。

そこでは、雲南市に移

住してきた方々による交流会が開催され
ていて、私たちも参加させてもらうこと
になりました。

交流会は、出身地も仕事も違う人たちが
縁あって雲南市のカフェに集まり、今の
自分の状況や困っていることなどを和気
あいあいと話し合う場となりました。

農地付き空き家に移り住んだが、自宅
周辺の草、一人には広過ぎる畑をどうし
たらいいか困っているという話題もあり、
移住後のサポートの必要性を感じまし
た。

新型コロナウイルスの影響によりオン
ラインによる参加者もあり、注意を払い
ながらの開催となりましたが、時間が経
つのを忘れるほど話題は尽きることが無
く、移住してきた若い人たちのパワーを
大いに感じる事ができた交流会でした。

佐藤博子



おすすめ商品など

雲南の焼きサバ

雲南市ではおなじみの焼きサバ!
この焼きサバが「たんびにきて家」で購
入できます。

毎朝、道の駅のレストランで焼かれたもの
がお店に並び、産直市では珍しく、雲南市な
らではの産物です。

焼きサバずしも一緒に販売されており、
個々が産直市の
名物となっています。



営業日 月曜日～日曜日
営業時間 9:00～17:30
休業日 1月1日～1月3日



木次町山方

産直市 たんびにきて家

「この産直市の特徴は雲南市の
他に奥出雲町、飯南町の生産者の
商品もたくさん並んでいることで
す。地元野菜・加工品はもちろん、切り花、花苗、鉢
花も多く販売されています。コロナ禍もあって、最近
では手芸品も多く並んでいます。」

道の駅さくらの里にあるため、市内はもとより市外
のお客さんもたくさん訪れ、中には電話注文で買い求
められる方もいらっしゃるようです。

広い圏域から集めた旬の野菜が並ぶので、長い期間
で多くの産地の野菜が楽しめるのもここならではの言
えます。特に3月に入ると、とても人気のある野菜の
一つである「葉わさび」がお楽しみいただけます。

竹籠、竹細工などが人気で遠くから求められるよう
ですが、生産者の高齢化もあり生産が困難になってい
るようです。昔からの工芸品が継承され、作品として
たくさん店頭で販売できればと思います。



産直市の皆さん



産直市の様子

編集後記

この一年、新型コロナウイルスの影
響で、世界が一変してしまいました。人の
動きがストップすると、こ
こまで経済が打撃を受ける
とは、正直思いもしません
でした。新型コロナウイルス
スワクチン接種が開始さ
れ、一日も早く新型コロナウイルス
流行以前の状態に
戻ることを期待します。

新型コロナウイルスの影響
で、JAしまねが開催し
ている「阪急オアシスしま
ねフェア」が中止となり、
産直市に出荷する農家にも
打撃となりました。

コロナ禍の中で、飲食業
の売上減少や家庭食の増加
が言われていますが、消費
動向をデータとして分析で
きれば、今後の作付計画や
新たなチャレンジにつな
がると思います。やはり食糧
を生産する農業は不滅で
す。

そして私は、家族と産直
市の消費者に安全安心な米
と野菜を誠実に届け続ける
ことが役割かなと改めて考
えさせられました。

高橋一裕